
すずむし

SUZUMUSHI

Vol. 5 No. 11

1955年12月

倉敷昆虫同好会

目次

| | | | |
|----------------|------|-------|---|
| 西大弁高に於ける蝶の人気投票 | 赤枝一弘 | ----- | 1 |
| 夢溪でアオバセセリ | 若林正史 | ---- | 2 |
| 編集後記 | | ----- | 2 |

西大寺高に於ける蝶の人気投票

赤枝一弘

文化祭を利用して蝶の人気投票を行って見たがオオムラサキの標本がボロであつたため面白い結果が出なかつた。すなわちカラスアゲハがその投票数の半数近くをしめてしまった。出品蝶は百余種であるが東京に於ける…(オニ表)を参考にしすなわち(ニ表)に集られた蝶の十位までの内ミヤマカラスアゲハとギブ、とヤマキの三種は手に入らなかつたが以上の三種はカラス、ヒメギブ、スジホソヤマキの内に含めても問題はないと思う。そして投票をやつて見たのだが先にも書いた通り、オオムラサキのさんだんたる敗北となつた。表を見ると男子も女子もその美的感覚に大差はないと思われる。しかし女子に於ては票の分散がいちぐるしく認められた。この投票は失敗であつたがオニ表に於てもカラスとミヤマカラスとの票を加えるとオオムラサキよりも票が多くなるからカラスの一位はまホ文句のない所であろう。最後に参考文献を御覧しく下さいました市内の久山氏に感謝いたします。

(第一表)

総投票数(138票)男68,女58,?12

| 種名 | 中 | 高 | 一般 | ? | 計 | 総計 |
|----------|----------|----|----|---|----|----|
| カラスアゲハ | 男6 女5 | 24 | | | 30 | 58 |
| | | 19 | | 3 | 4 | |
| スジホソヤマキ | 男 女 | 4 | | | 4 | 11 |
| | | 3 | | | 6 | |
| ワタベニキョウ | 男 女 | 2 | 1 | | 3 | 10 |
| | | 3 | | | 6 | |
| カバマダラ | 男 女 | 5 | | | 5 | 9 |
| | | 2 | 1 | | 4 | |
| イサナキョウ | 男 女 | 1 | 1 | | 2 | 7 |
| | | 2 | | 1 | 3 | |
| オオムラサキ | 男 女 | | 2 | 1 | 3 | 5 |
| | | 1 | | | 1 | |
| ミヤマエンキョウ | | 1 | | | 1 | 4 |
| ヤスビシロキョウ | | | | | | |
| アカマダラ | | | | | | 3 |
| オオムラサキ | | | | | | 3 |
| 以下田各 | | | | | | |

| 科別 | 票数 |
|---------|----|
| アゲハキョウ科 | 69 |
| シロキョウ科 | 25 |
| タテハ科 | 22 |
| ムナギ科 | 9 |
| シジミ科 | 6 |
| セセリ科 | 2 |

オニ表
東京に於ける蝶の人気投票
出品蝶(150余種)投票総数(22)
(新昆虫 Vol. 4, No. 11)

- (1) オオムラサキ 59
- (2) カラスアゲハ 45
- (3) ミヤマカラスアゲハ 23
- (4) モンキアゲハ 15
- (5) アオスジアゲハ 15
- (6) スジホソヤマキ 10
- (7) ムラサキシジミ 8
- (8) ギブキョウ 7
- (9) ヤマキキョウ 6
- (10) ミドリシジミ 5
- (10) キアゲハ 5

豪溪でアオバセセリ

去年5月3日の憲法記念日を利用して豪溪へ採集に自転車で行った。僕の町である門田から二里ばかりはなれた所であるから行くのに覚悟でない。一里半ばかりバダルをふんだころ、ジャコウアゲハとオナガアゲハを見つけ、途中で網を振ったが、あんなのろい蝶なのに逃がしてしまった。アツアツ言いながら豪溪へついたが喉がかわいていたので水をのんで、喉を取りなおして上へ上へ登って行った。カラスアゲハはいないかと思つて谷川の方へ下りて行ったが見つかることは出来なかった。へりに白い花の咲いた木があつたので何か届はしなないかと探してみたが何も届はない。又道へもどろうと思つて足をやろうとした時、緑色の物がパッと僕の目なかずめて白い小さな花の咲いた木へとまった。何かと思つて胸をわくわくさせながら見るとアオバセセリではないか！ 夢にも思わぬ蝶が危んで来たものだから手がふるえた。そろりぞろり近寄つてパッとすくい上げた。見事アオバセセリが採集出来た。翅を見ると少々鱗粉がはげて取れていたが嬉しかった。これが豪溪No.1のアオバセセリではないかな？とさえ思った。それから又上へ上へ登って行ったが別にふれと言う物は採集出来なかった。又アオバセセリを採集した所へ行つて見たら又アオバが届るではないか！ しかしそれは残念にも逃がしてしまつた。もうおそくなったのでその日は帰つたがあつた逃がしたアオバセセリが啼かれる。そこで5月5日の子供の日を利用してもう一回採集に行ったがもうその日は姿を見せなかった。しかし谷間でカラスアゲハを採集することが出来た。

豪溪にアオバセセリが産しているならばスミナガシも産しているのではないかと思う。その後何回となく採集に行ったがアオバセセリもスミナガシも採集出来なかった。又いつか採集出来ると思う。

若林正史（総社市門田，中学生）

編集後記

本枝氏の第一表後半紙面の都合上省略させて頂きました。悪しからず。豪溪でスミナガシを編者今年目撃しています。

すずむし 第5巻 第11号 昭和30年3月8日印刷
昭和30年1月8日印刷

編集者 倉敷市住吉町 岡山大学農芸生物研究所
発行者

害虫部第二研究室内

倉敷昆虫同好会